

親の居ぬ間に

松本 康子

現地校では、日本の学校のように英文法を教えてもらっていないのかというと、決してそうではありません。そんなことにも気づかないほど、子どもの勉強に手を貸したことがないのです。

< Parts of Speech (Mechanics English) >

辞書を引かないでくださいね。

The tired woman walked slowly in the rain,
 5 3 1 2 4 6 5 1
so she got cold and wet.
 8 7 2 1 8 1

英語の文法の基礎で、Parts of Speech (Mechanics English) と呼ぶ 8 つのグループがあります。上の英文がこのグループの全てで構成されているため、例として挙げました。それは、語彙の下に書いた数字で示すように、

- 1、Nouns (people, places, or things)
- 2、Verbs (the state or action word in a sentence)
- 3、Adjectives (give more information about nouns)
- 4、Adverbs (give more information about verbs)
- 5、Articles/Determiners
(words that come before most nouns)
- 6、Prepositions
(give information about place and time)
- 7、Pronouns (replace nouns)
- 8、Conjunctions (join sentences)

となります。

このように、現地校では、日本の学校のように英文法を教えてもらっていないのかというと、決してそうではありません。これ以外にもたくさんの文法を、学年のレベルが上がることに習っています。そのことを、私は「知っていたつもり」になっていましたが、本当は「まったく分かっていなかった」のです。

それで今回、なぜ「つもり」になっていたのかいろいろ考えた結果、英語のエキスパートでもない私が、柄にもなくこんな英文例まで書いたしだいです。

<あの頃わたしは>

英語のエッセイでは華々しい評価を受けてきた次女が、「小学校 2 年生のとき、クラスでも宿題でも Mechanics がまったく分からなくて大変だったのよ」と、もう 30 才になろうかという頃になって、思い出したように突然話し始めました。「え、そんなことがあったの」というふうに、最近、私の知らなかった子ども達の話をつらつら聞かれます。ところが、「そう言えばそんなことがあったね」と、夫は懐かしそうに話に加わってきました。仕事に忙しく、家庭のことはほとんど妻任せだった夫の言葉に、「私が知らなかったことをなぜあなたが」と、不思議です。

それは、成績表の中で、なぜかその項目だけにチェックが付いていたのを覚えていたからだそうです。夫の「Mechanics にチェック」という言葉がキーとなって、私もその言葉の意味やどうしてチェックが付いているのかを、聞いたことがあった、あったと思い出しました。アメリカのレポート・カードは日本のそれとまったく内容が違うので、私もそれなりに注意を払っていたのに、そんなことがあったのかどうかも思い出せなかったくらいですから、聞いただけなのでしょう。困ってそれでどうなったのかと、今更ですが心配して聞きますと、なんと ESL のクラスの子ども達と一緒に勉強させられていたと、娘はからからと笑って答えました。それもまた私には寝耳に水の話です。

それで、「お父さんに練習ドリルを買ってもらって、それを真面目にやったら理解できるようになったのよね」と、「あの頃のわたし」は一生懸命勉強したのだと、自画自賛話に花が咲きます。忙しかった夫ですから、そんな機会はたまたまだったのでしょうが、娘をサポートしてくれていたことに心から感謝です。

こうして、子ども達のことを知っているつもりになっていましたが、その頃には見えていなかった娘たちの生活を、知る機会が増えてきました。